

| 2015年度 前期           |  | リフレクションペーパー  |           |      |      |     |      |      |
|---------------------|--|--------------|-----------|------|------|-----|------|------|
| 学科名                 | 情報学科   |              |           |      |      |     |      |      |
| 科目名                 | データ構造とアルゴリズムI演習  |              |           |      |      |     |      |      |
| 科目区分                | 専門科目   | 単位数          | 2         | 開講時期 | 2年次  |     |      |      |
| 必修・選択の別             | 必修   |              |           |      |      |     |      |      |
| 担当者                 | 戒田 高康・寺井 仁・佐塚 秀人   |              |           |      |      |     |      |      |
| 授業の到達目標<br>(シラバスから) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的なアルゴリズムや計算量の概念を理解し、簡単な問題に適用できる。</li> <li>・基本的データ構造、抽象データ型を理解し、簡単な問題に適用できる。</li> <li>・構造化プログラミングの意味を理解し、簡単な問題に適用できる。</li> </ul>  |              |           |      |      |     |      |      |
| 日程と内容               | <p>第1回: 導入講義: 授業の進め方と概要の説明、成績評価法を説明し、その他についての簡単な説明を行う。</p> <p>第2回: レポートの作成法についての演習を行う。</p> <p>第3回: データ構造の基礎、抽象データ型についての演習を行う。</p> <p>第4回: リスト、スタック、キューについての演習を行う。</p> <p>第5回: 木構造、クラスについての演習を行う。</p> <p>第6回: フローチャートの基礎(端子と接続)についての演習を行う。</p> <p>第7回: フローチャートの基礎(分岐と反復)についての演習を行う。</p> <p>第8回: 第1回総合演習</p> <p>第9回: 再帰的アルゴリズムについての演習を行う。</p> <p>第10回: 線形探索についての演習を行う。</p> <p>第11回: 二分探索についての演習を行う。</p> <p>第12回: バブルソートについての演習を行う。</p> <p>第13回: 第2回総合演習(その1: クイックソートなど)</p> <p>第14回: 第2回総合演習(その2: 平衡木とB木など)</p> <p>第15回: 総合演習についての解説を行う。</p> |              |           |      |      |     |      |      |
| 成績評価基準              | 定期試験   | 0%           | 実技        | 0%   | 臨時試験 | 0%  | 部外評価 | 0%   |
|                     | 報告書・レポート   | 100%         | プレゼンテーション | 0%   | 課題   | 0%  | 計    | 100% |
|                     | 演習   | 0%           |           |      |      |     |      |      |
| 授業到達目標の達成度          | 授業の内容については当初の予定通り、実施することができた。なお、合格者は授業の到達目標の6割以上は理解できていたと判断している。   |              |           |      |      |     |      |      |
| 反省点                 | 演習における学生の理解を助けるために、座学とは別に、課題のレビューを行うことが必要であったと感じている。   |              |           |      |      |     |      |      |
| 来年度の計画              | 講義内容は例年通りとするとともに、受講者の評価が高くなるよう、演習課題を工夫することを考えている。また、事後でもいいので、ある時点で演習の模範回答が欲しいとの要求があったため、そのように対応したい。  |              |           |      |      |     |      |      |
| 授業評価アンケートに対するコメント   | 授業評価は平均またはそれを少し下回るものであった。講義で扱うテーマ自体は、アルゴリズムの基本であるため、変更を行うことは考えていない。演習課題を工夫することで対応したいと考えている。  |              |           |      |      |     |      |      |
| 履修登録者数              | 21名  | 定期試験<br>受験者数 | 21名       | 合格者数 | 21名  | 合格率 | 100% |      |